

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	チームみらいときっず		
○保護者評価実施期間	2026年1月19日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2026年1月19日		～ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 23
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	強度行動障害児や重症心身障害児、重心医療的ケア児が、地域生活を継続できるよう積極的に受け入れをしております。また、入浴支援も積極的に行っており、清潔保持やご家族の介護負担の軽減に繋がっていると思います。	障害の種別を問わず、日中のたくさんの方とふれあいを図るようになっています。また医療的ケアが必要な方には、ご家族の意向に沿った処置を行っております。	職員の定期的な勉強会や研修へ積極的に参加し知識・技術の向上を目指し、園や学校、ご家族との連携を密にしていきたいと思います。
2	理学療法士・言語聴覚士による個別療育を行い、発達に応じた支援をしている。	その日の体調に合わせて観察や評価を行い、個別訓練を実施しております。また、医療機関や保育園幼稚園、他事業所と連携し情報交換を行っています。	今後も現在の取り組みを継続しながら支援します。
3	室内はバリアフリーの広いフロアとなっており、安全に活動することができます。	安全に配慮し、個々に合わせ活動をおこなっています。	自立に向けた支援や法人内の事業所体験など実施していきたいと思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域で他の子どもと交流する機会を設けることが出来ていませんでした。	当事業所は強度行動障害児や医療的ケア児のメンバー様が多く利用されています。感染症がはやってる時期は、人と接触する機会を減らしていましたので、事業所外の人との関りが少なくなっていました。	次年度は地域の交流会など少人数でも参加し交流できるようにしたいと計画中です。
2	家族会など保護者様同士が交流する機会を設けることが出来ていませんでした。	家族会を開催するにあたっての計画準備の協力が難しく、そのような機会を設けることができなかった。	法人内で家族会への協力を募ったり、法人の家族会(宮友会)について、活動内容などを積極的にお便りに記載し会員を増やしていきたいと思います。
3	家族も参加できる研修会や情報提供の機会を十分に周知理解されていませんでした。	定期的なお便り記載や開催時のプリント配布を行っていましたが、十分に周知頂けていなかった。	お便りで写真を沢山掲載し特集を組むなど周知できるよう取り組みたいと思います。